

バリアフリーで 観光集客目指せ

鹿児島市でセミナー

障害者や高齢者ら誰もが楽しく旅行できる観光地づくりを目指す。鹿児島県と県観光連盟は7日、鹿児島市のホテルでセミナーを開いた。パネル討論や基調講演があり、行政・観光関係者ら約90人が集客を増やすバリアフリー観光の在り方を学んだ。写真。

討論では、ハード整備の考えが先行していたり、市場が小さいという誤解があったりする現状を確認。「10坪の段差があるだけでバリアフリー対応できないと諦める施設が多い」「大ごとに考えず、『大丈夫ですか』という声掛けだけでもいい」との意見が出た。

日本バリアフリー観光推進機構の中村元理事長は、伊勢志摩地域

で事業に取り組み始めてから、一般客から従業員への要め言葉が突然増えたと紹介。「バ

リアフリー観光は、障害者や高齢者だけでなく、一般客へのもてなし力を高める一歩になる」と総括した。

セミナーは、20日に奄美市の県大島支庁でも開かれる。

(濱田朋美)

